

中学校 2年 社会科 (地理)

考える
想像する
表す

読む

育成したい
国語力

複数の資料の情報から、現状を把握し、その原因を考え、さらには今後の展望や影響を予測し、自分の考えや判断に生かす。また、読み取ったことを評価しながら自分の言葉で表す。

単元名

「世界のなかの日本の農業」

本時の目標

- 日本の農業を学ぶ導入として、日本の食料自給の状況を読み取ることを通して、世界の食料生産と日本の問題を考えることができる。
(資料活用の技能・表現)
- 今後の日本の食料問題や農業問題を展望し自分の意見をまとめる。
(社会的な思考・判断)

本時の流れ

導入

ハンバーガーセットの材料がどこからもたらされているかを想像し、食料について興味・関心をもつ。

視点①

自分の経験や知識と結び付けて想像する力をはぐくむことができます。

展開

資料 から、身近な食料がいかに外国からの輸入に依存しているのかを理解する。

資料 を見て、日本の食料自給の現状を読み取る。

資料 を見て、日本と諸外国を比較する。

日本の食料自給率が、諸外国と比較して著しく低いことを理解した上で、食料自給率が低下した原因を考える。

日本の食料自給を今後どうすべきかについて、その理由を含め自分の意見をまとめる。

視点②

資料が示す事実について、その背景まで想像し、読み取ったことを吟味し、評価しながら自分の言葉で表す力をはぐくむことができます。
また、資料から読み取った情報から、今後の展開や影響を予想し、自分の考えや判断に生かすこともできます。
さらに、与えられた情報の関係性を読み取り、考える力や表す力をはぐくむことができます。

まとめ

次時への見通しをもつ。

視点③

次時では、「今後食糧自給率を上げていくべきだ。」と考えるグループと、「今後も現状のままでいい。」と考えるグループに分かれて討論をします。討論を通じて、考察したことを、説得力をもって話したり、他者の意見を多様な視点から吟味しながら聞いたりすることで考える力をはぐくむことができます。

国語力育成の視点

複数の資料から、現状・原因などを読み取り、身近な問題について考察を加えることにより、資料を様々な角度から読み取ろうと想像する力や考える力をはぐくむことができます。また、次時では、クラス内で討論をすることにより、考察したことを説得力をもって話したり、他者の意見を多様な視点から吟味しながら聞いたりすることで考える力をはぐくむことも期待できます。

これらのことにより、「様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現する能力や態度を育てる。」という地理的分野の目標を達成する一助にもなります。

教材等の例

「日本の食料問題について考えよう」

()組()番 氏名()

資料 ハンバーガーセットの材料はどこから？



(帝国書院「社会科 中学生の地理」より)

資料 世界から集まる日本の食料

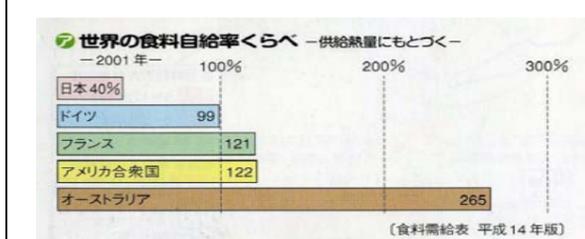


(帝国書院「新編 中学校社会科地図 初訂版」より)

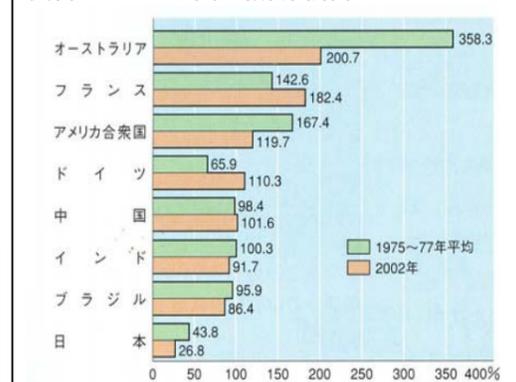
資料 日本のおもな食料の自給率の変化



資料 世界の食料自給率くらべ



資料 おもな国の穀物自給率



低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

国語

社会

数学

理科

生活

外国語

活動

道徳

総合的学習